

# 大豆の株枯病に対する罹病性の品種間差異について（予報）

誌名	東北農業試験場研究速報
ISSN	0495730X
著者名	宮原,万芳
発行元	農林省東北農業試験場
巻/号	6号
掲載ページ	p. 65-76
発行年月	1966年3月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター  
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council  
Secretariat



# 大豆の株枯病に対する罹病性の品種間 差異について（予報）

宮 原 萬 芳

株枯病 (*Ophionectria Soiae* HARA) は従来大豆の病害としてはあまり注目されていなかったが、最近東北の各地でその発生が認められると聞く。当刈和野試験地では昭和38年、上野台の大豆試験圃場にかけて経験したことがないほど大発生し試験の遂行に相当な支障をきたした。

株枯病の発生は、同一品種でも気象、土壌、耕種条件などの相違によって、その程度を異にするであろうことは予想されるのであるが、発病の激甚な、環境条件が全く同じと考えられる圃場内でも品種・系統によってその罹病程度には明らかな差異が認められる。しかしながらこれまでの報告では大豆品種の株枯病に対する抵抗性の有無または抵抗性の機構などについて論及したものはないようである。そこで昭和38年のような大発生をした年次において同一環境条件下に栽培された多数品種または系統について罹病性の差異を調査することは、品種の特性を把握し、大豆の育種および栽培上の参考資料を得るうえからも重要なことと思われる。

作物第3研究室員一同は、石川室長の指示により、それぞれの分担する試験について8月下旬から9月上旬にわたって一斉にその罹病程度を調査した。本報告では、品種保存栽培（小山フミ技官担当）の調査成績を主とし、さらに系統育成関係（今野善一郎、長沢次男、松本定夫、各技官担当）の一部を併せて報告することにした。関係者各位の参考になれば幸甚である。なお本報告を行うに当たり、病菌の同定には栽培第2部、病害研究室長、飯田格博士をわずらわし、また成績の取りまとめには当研究室長、石川正示技官の御指導を仰いだ。共に記して謝意を表する。

## 1. 調査方法

1. 品種・系統の罹病株率  $(\frac{\text{罹病株数}}{\text{調査株数}} \times 100)$  の大小をもって一応その品種・系統の推定抵抗性とする。
2. 罹病株数とは、調査区内の調査総個体数中の罹病個体数である。罹病個体数とは発病の当初から新しい発病がほぼ終息した9月10日までの発病個体の総数である。なお罹病程度が激甚で完全に枯死したのも、また軽微で葉がやや黄変した程度のものも区別することなくすべて罹病個体に数える。
3. 調査対象は発病が甚しい上野台試験圃で実施した諸試験とする。
4. 発病程度は全圃場が必ずしも一様でない。品種・系統の抵抗性を、栽植圃場の発病程度に関係なく、単に罹病株率から機械的に推定・区分する場合は、得られた結果が著るしく不合理なものとなるので、本調査では栽植圃場の発病程度別に次の3段階に区分して調査・分類し、真の抵抗性を推定する手がかりとした。  
Ⅰ 発病が多いところ。Ⅱ 発病が中程度のところ。Ⅲ 発病がやや軽微なところ。

## 2. 調査成績ならびに考察

### 1. 品種の罹病株率

品種保存栽培に供用された1,107品種・系統の罹病株率は第1表のとおりである。本試験の供用圃場における発病程度は、全般的には「中」程度と観察され、圃場内における株枯病の発生状況は比較的一様のように認められた。

第1表 品 種 の 罹 病 株 率

罹病株率 (%)	成熟期 (月 日)	該 当 品 種 名
0.0	8.11~8.20	雪割豆 = Bd 2001,
	8.21~8.31	十支第7910 = Ao1013, 三号早生 = He4001, 早生黒大豆 = He4002,
	9.1~9.10	罹不知1号 = Ao1001, 奥原1号 = Ao1002, 奥原大豆 = Ao1003, 大谷地1号 = Ao1004, 大谷地2号 = Ao1005, 大谷地3号 = Ao1006, 大谷地 = Ao1007, 秋田大豆 = Ao1008, シンセイ = Ao1011, 早生金 = He1006,

罹病株率 (%)	成熟期 (月 日)	該 当 品 種 名
	9.11~ 9.20	カリカチ=Ao1010,トカチンロ=Ao1012,北見長葉=Ao1014,早生伊達茶=Bo3001,越賀大豆=Ef1001,赤早生=Hb1020,白目1号=Hd1003,松葉大豆=Hg1007,黄莢(2)=Hg1009
	9.21~ 9.30	本育65号=Ao1017,關越1号=Ao1025,關越=Ao1026,石狩白=Ao1029,三石大豆=Ao1030,白鶴の子=Ao1036,鶴の子白花=Ao1037,早生黒千石=Ao4007,陽月1号=Ba1002,陸羽30号=Bb1065,興羽12号=Bb1072,川流(岩手)=Bc1001,中生伊達茶=Bo3002,小豆=Cb1005,農林1号=Cc1001,關東7号=Cc1011,地茨城1号=Cc1020,銀杏=Cd1012,黄粉大豆=Cd2002,ゲンゾク=Cg1004,極青=Cg2001,滝谷560号=Da1016,純滝1号=Dc1001,福井白=Dd1004,御厨46号=Hd1011,肥後大豆=Hf1002,鈴豆=Jo1035,鼠返し=Jo1038,公309号=M1017,
	10. 1~10.10	出来通=Ba1004,anc-b(白毛)=Bb1004,興羽11号=Bb1071,興系7号=Bb1079,た系1号=Bb1082,山形淡緑=Bd2002,農林3号=Cc1003,善光豆=Jo1043,晩生茶小粒=Jo3009,鉄莢青豆=M2002,青島産黄豆=N1004,I l s o y = U3004,
	10.11~11.20	野起=Ba1007,野起白花=Ba1010,半白=Ba1011,鶴の卵(No.1)=Ba1017,鶴の卵=Ba1019,沖田1号=Ba1027,陸羽4号=Bb1043,黒豆(山形)=Bd4003,白毛9号=Bf1004,中生大豆=Jo1003,Arlington=U4001,
	10.21~10.31	青鶴の子=Ba2005,陸羽9号=Bb1048,陸羽26号=Bb1061,鬼赤莢=Bb1109,赤莢=Bb1123,Bb4001=Bb4001,白鷹種=Bd1003,中山豆=Bd1018,ヤシ豆=Bd1019,青ばつ=Bd2011,三ツ豆=Be1016,旭60号=Bf1005,目白1号=Bf1006,白八石2号=Bf1007,雁喰3=Bo4002,青小粒=Cc2002,上岩=Cg1010,赤莢=Dc1003,灰猫=De1003,赤莢(長野)=Df1017,富士在来=Di2003,赤莢=Ed1001,共=Jo2022,紫の実=Jo3007,黒小粒=Jo4005,大平=Jo5004,飛鳥=K1026,大芽大豆=K2003,端川淡青=K2004,端川45号=K2005,アンチェームリパームコン=K4003,Old Dominion=U3006,
	11. 1~11.10	白玉=Bc1016,秋大豆=Dg1004,借金なし=Do1003,青秋大豆=Ec2001,もち豆(在来)=Jo2030
	11.11~11.15	マダラ大莢ツル豆=Cb3002,一本鈴成=Dh1004,野生大豆=Ed9001,中熟大豆=Fa1002,鷺白大豆=Fb1002,茶莢(2)=Jo3010,Ogden=U2004,*Mammoth Brown=U3005,*Brdneodo Risgronde=W1001,
0.1~ 9.9	8.11~ 8.20	
	8.21~ 8.31	
	9. 1~ 9.11	コガネジロ=Ao1019,イタチ=Cf1008,地藏=Cg1006,松浦在来=Hb1005,ゲンナイ=Hb1015,島原=Hd1002,改良白目=Hg1001,早生金=Hg1005,
	9.11~ 9.20	白小粒=Ao1009,長葉裸1号=Ao1021,中生光黒=Ao4004,榎実大豆=Hb3001,江迎大豆=Hd1009,黄莢(夏)=Hg1011,赤早生=Hg1012,白口大豆=Hg1013,黒目=Hg2001,下長=Jo2002,小金黄1号=M1007,
		北見長葉(白目)=Ao1015,赤鞆=Ao1024,石狩白1号=Ao1028,丸小粒=Ao1031,早生鶴の子=Ao1034,甘露=Ao1041,早生毛振=Ba2001,陸羽2号=Bb1041,

罹病株率 (%)	成熟期 (月 日)	該 当 品 種 名
		陸羽7号=Bb1046,陸羽17号=Bb1053,霜川=Bd1007,大目白=Bb1002,晩越後=Ca1002,八ッ房=Cb1004,芳賀在来=Cb1006,タマムスメ=Cc1004,晩越後=Cc1029,滝谷純1号=Cd1002,二ノ宮=Cg1002,花嫁=Co1001,鮎=Co1005,早生鯛ノ目=Da2001,借金ナシ選=Dd1003,滝谷(早生種)=Df1002,ねりくり=Jo1040,黒豆=Jo4002,赤仁田=Jo4003,公農390号=M1018,開原白花=M1023,四粒黄=M1033,Monroe=U1036.
	10.1~10.10	晩生光黒=Ao4005,陸羽22号=Bb1058,奥羽13号=Bb1073,奥系15号=Bb1081,ハツカリ=Bb1102,淡緑(1)=Bb2001,秋田兄=Bd1001,十石豆=Cd1011,玉座種(No.1)=Jo1044,銀大豆=Jo2003,P.I.90763=U4005
	10.11~10.20	やぎ607号=Ba1008,撫子1号=Ba1014,ビツタリ豆=Ba2003,青小粒=Ba2004,奥羽7号=Bb1069,兄=Bb1105,岩手野起1号=Bc1003,島山根1号=Bc1013,黒莢=Bd1015,木ノ下豆(No.7)=Bd1031,出来過1号=Be1003,青入道=Jo2004,Jet=U4002
	10.21~10.31	陸羽18号=Bb1054,野中1号=Bb1106,明月豆=Bb2003,葉引1号=Bc2003,滝谷豆=Bd1005,革新1号=Bf1008,光(群馬)=Ca1009,白秋大豆=Ec1001,青小粒=Jo1023,小青粒=Jo2006,灰白大豆=K3008,鼠目太=K4002, Virginia Brown=U3007.
	11.1~11.10	
	11.11~11.15	
10.0~19.9	8.11~8.20	小袖振=Ao2001,
	8.21~8.31	
	9.1~9.10	ナガハジロ=Ao1018,ホッカイハダカ=Ao1020,白花大袖振=Ao2004,早生大豆4号=Cf1002,早生大豆11号=Cf2002,改良祇園坊=Hb1010,金子=Hb1013,早金=Hb1014,島原早生=Hd1001,白莢1号=He1004,トッパ=He1005,改良白目(2)=Hg1003,石原大豆=Hg1006,Ioybe aus856-3-15=T1003, Ioybe aus856-3-34=T1007,
	9.11~9.20	光黒=Ao4006,黒大粒大豆=Bd4001,桂公田=Cg1007,こうばら大豆=Fa1001,夏大豆=Ha1001,筑後大豆=Hb1018,白目=Hd1004,祇園坊3号=Hd1006,改良祇園坊=Hd1007,白目=Hg1004,黄莢=Hg1010,黒魁=Jo4001,
	9.21~9.30	陽月1号=Ba1001,anc-B(A)=Bb1005,A-b=Bb1007,陸羽3号=Bb1042,た系9号=Bb1087,滝谷=Bd1004,千成娘=Be1009,ボンミノリ=Cc1008,関東6号=Cc1010,関東9号=Cc1013,地塚=Cc1022,カキハダカ=Cd1004,還俗=Cg1005,白色=Co2001,交4号=Da1009,鼠莢=Da1019,チンコ=Db1002,九月豆=Dd2001,松福1号=Df2001,田方1号=Di1003,小笠在来=Di2001,青地=Hf2001,第二赤莢=Jo1006,生娘=Jo1014,大井上50号=Jo1015,大目白=Jo1018,長月=Jo1039,千成小娘1号=Jo1045,豊地大豆=M1010,混保大豆=M1021
	10.1~10.10	鶴の子=Ao1038,鶴の子=Ao1039,N-b(B)=Bb1023,陸羽25号=Bb1060,奥系2号=Bb1075,奥系5号=Bb1077,奥系6号=Bb1078,東北11号=Bb1096,小出在来=Bb1114,青入道=Bb2002,伊達小七=Bd1011,油豆=Bf1019,大道豆=Bb1007,タチスズナリ=Cc1007,関東12号=Cc1015,花嫁1号=Cc1026,水潜=Da1013,岩船滝谷=Da1017,早生オイラン=Do1001,土用豆=He3001,

罹病株率 (%)	成熟期 (月 日)	該 当 品 種 名
		新 六=Jo1041,黒皮青央=M4003, T o k y o=U1030, A u s t i n=U2001, Petten=U2005, lsoy=U3003, Black Eyebrow=U5001,
	10.11~10.20	野起1号=Ba1005,野起=Ba1006,やぎ603号=Ba1009,コビンカタギ=Ba1029, 陸羽27号=Bb1062,千生=Bb1116,花輪在来=Bb1117,岩手野起=Bc1004, 白八石=Bd1002,木ノ下(No.3)=Bd1028,木ノ下(No.9)=Bd1032,木ノ下(No.8)=Bd2003, 金成1号=Be1026,やぎ7号=Bo1006,新玉錦=Ea1001,しじか=Jo1053, 在来種秋大豆(2)=Jo1056,赤鼠目大豆=K3002,田螺大豆=K3003
	10.21~10.31	茶小粒=Ao3001,鶴の卵(No3)=Ba1018,兄3号=Bb1119,ワイ性(仮称)=Bb1134, 第1種貫=Bc2004,純いらず=Bd1017,木ノ下豆=Bd1033,木ノ下豆=Bd1034, 黒皮伊達青=Bd2009,みつ豆(B)=Be1015,砂積=Be1018,モチ豆=Bf1020, 白系10号=Bf1022,興農2号=Bf2005,大道豆=Bo1008,鳩殺A=B.1009, 松造=Ca1010,赤城下=Ca1012,仙台種=Cc1031,つる豆=Cf9001, 八里半=Da2002,ソコシン(上郷村)=Da2004,中鉄砲=De1004,侵豆(白)=Df1010, 東条早生=Df1011,赤莢(目白)=Df1018,旭=Do1002,赤莢=Ec1002, 八月大豆=Gc1002,二番大豆=Hc1001,白猫足=He1009,虎豆=He5002, 改良東錦=Jo1057,日陰豆=Jo1067,白猫選=Jo1071,豊年豆=Jo2007, 青白=Jo2008,無名=Jo2011,長月=Jo2017,在来種=Jo3006, 黒中粒=Jo4007,もやし豆=Jo4008,金洲青小粒=K2002,灰白大豆=K3007, 黒大豆小粒=K4001, Lee=U1035, Morse=U2003
	11.1~11.10	数の子豆=Bd1022,青大豆=Jo2027
	11.11~11.15	タノクロ大豆=Cg1011,秋白=Dg1005,青畑=Dg2001,*山口秋大豆=Fc1003, *赤仁田=He1023,*白大豆=Jo1025,*北海道=K1030,*Gendfah=O1002, *Sinboie=O1006,*JavaNo.7=O1008,
20.0~39.9	8.11~8.20	
	8.21~8.31	
	9.1~9.10	中生黒大豆=Ao4001,早生黒光=Ao4003,豊永=Bc1009,狐莢=Ca1001, ヨリカラミ=Cd2111,早生大豆7号=Cf1003,極早生夏大豆=Cf1007,早生大豆=Cf2001, 早生大豆12号=Cf2003,春日在来=Hb1009,金=Hb1012,赤晩=Hb1017, 一号早生=He1001,夏鞍掛=He5001,金大豆=Hf1001,福永1号=Jo1030, 元宝金=M1006,克霜=M1019, Loybe aus843-20-1=T1002, Loybe aus882-27=T1004, Loybe aus840-73=T1006, FiskebyV=T1008
	9.11~9.20	十勝裸=Ao1022,吉岡大粒=Ao2002,絵山黒2号=Ao4002,赤塚=Cb3001, ヌレ=Cf1004,鬼裸(1)=Co1003,新3号=Da1003,刈羽滝谷28号=Da1014, 北浜1号=Dd1001,茶豆小粒=Di3110,松浦=Hb1004,江迎大豆=Hb1019, ミサキ大豆=Hb1021,目黒=Hb2001,青大豆=Hb2004,白眉大豆=Hd1008, 御厨大豆=Hd1010,天草=He1003,御厨大豆=Hg1015,朝鮮大豆ゲイ=Hg1017, 夫婦大豆=Hj2002,小白=Jo1013,満倉金=M1009, Richland=U1026
9.21~9.30	十勝長葉=Ao1016,中生裸=Ao1023,赤莢1号=Ao1027,早生つるの子=Ao1033, 白鶴の子=Ao1035,甘露=Ao1040, anc-b(B)=Bb1002, anc-b(C)=Bb1003, N-b(A)=Bb1020,陸羽21号=Bb1057,大館1号=Bb1085,刈下19-1=Bb1095, 白大豆=Bb1111,裸豆=Bc1010,小八月=Bc1011,酒田早生=Bd1006,	

罹病株率 (%)	成熟期 (月 日)	該 当 品 種 名
		八月甲3号=Bd1009, 盆 白=Be1008, 白 鉄 砲=Be1010, 農 研 5 号=Bf1003, 彼 岸 豆=Bj1001, 千 成=Bo1003, 晚 越 後 8 号=Ca1003, 借 金 な し=Ca1004, 黒 =Ca4001, 栃 木 2 号=Cb1001, 福 娘=Cb1003, 農 林 2 号=Cc1002, シンメジロ=Cc1005, フクメジロ=Cc1006, 地 塚=Cc1021, お ら く 豆=Cc1027, 金 兵 衛=Cc1028, 鬼 裸(鴻 巣)=Cd1008, 十 石=Cd1010, 白 花 1 号=Co1006, 交 系 95 号=Da1008, 生 娘=Da1012, 刈 羽 藩 谷=Da1015, 松 福 大 豆=Df2002, 富 士=Di1002, 鷹 岡 在 来=Di1004, 五 葉 黒 豆=Do4001, 夏 大 豆 1 号=Ef1002, フジスメ=Hb1003, 油 大 豆=Hf1004, 青 地 (夏)=Hf2002, 中 生 白 莢=Jo1004, 白 莢=Jo1005, 裸 3 号=Jo1016, 都 =Jo1032, 赤 塚=Jo1036, ね ず み 返=Jo1037, 胡 豆=Jo2001, 無 毛 斑=Jo5001, 有 毛 斑=Jo5002, 黄 宝 珠=M1008, 金 元 1 号=M1011, 満 地 金=M1012, 金 黄 1 号=M1013, 公 主 嶺 235 号=M1015, 公 2 6 2 号=M1016, 福 寿=M1020, 混 保 系 -1=M1022, 北 京 青 大 豆=N2001, M i d w e s t = U 1023, P. I. 68521 = U 1037, L e x i n g t o n = U 2002
	10. 1~10.10	滿 洲 綠 目 赤=Ao2005, 東 吉 1 号=Ba1003, 縞 豆=Ba1022, 大 目 玉=Ba1023, 千 成 甲=Ba1031, 星 豆=Ba5001, A - b (C) = Bb1011, N - B = Bb1025, 陸 羽 8 号=Bb1047, 陸 羽 19 号=Bb1055, た 系 2 号=Bb1083, 在 来 種=Bb1115, 山 白 玉=Bc1002, 鶴 の 友 1 号=Be1001, 小 八 月 14 号=Be1002, 茨 城 豆 7 号=Bf1001, 達 磨 2 号=Bf1002, 石 井 早 生=Bf1017, 福 島 種=Bf1018, 花 塚 茨 城 1 号=Cc1025, 交 系 64 号=Da1006, 新 潟 4 号=Da1018, 玉 名=He1008, 六 月 大 豆=Jo1002, 斑 大 豆=K5110, C h i q u i t e = U 1004, ミ カ ド = U 1024, P. I. 84751 = U 4006, N o u s e M o n d = U 5002
	10. 11~10.20	竹 籠 1 号=Ba1013, 撫 子=Ba1015, 味 噌 豆=Ba1028, 青 豆=Ba2002, う ず ら 豆=Ba5002, N - B (縞 毛) = Bb1035, 陸 羽 5 号=Bb1044, 興 系 1 号=Bb1074, 在 来 種=Bb1118, 東 吉=Bc1007, 小 八 月=Bc1012, 玉 造=Bc1015, 逢 吉=Bd1014, 三 本 一 升=Bd1020, 木 ノ 下 (N. 2) = Bd1027, 木 ノ 下 (N. 5) = Bd1030, 白 山 寺=Bd2005, 桜 豆=Bd3002, 玉 造 11 号=Be1004, 金 成 在 来=Be1007, 毛 振 1 号=Be1013, 茨 城 17 号=Bf1016, 会 津 豆=Bf2003, や ぎ 豆=Bj1005, 東 山 52 号=Dc1002, 坂 上 2 号=De1001, 白 目 長 端=De1002, 藩 谷=Df1003, 銀 白=Df1004, お か つ 豆=Df1008, 倉 科 晚 大 豆=Df2004, 茶 豆=Ea3001, 畿 内 徳 島 2 号=Gc1001, 黒 莢=Hg1016, 馬 大 豆=Jc2005, 黒 豆=Jc4006, リ カ ン カ ン = K 1020, 赤 青 田 5 = K 3004, 赤 青 D 165 = K 3005, 濃 茶 太 太 = K 3006, ウ ロ ン コ ン = K 5002
	10. 21~10.31	陸 羽 29 号=Bb1064, 興 羽 3 号=Bb1066, 興 羽 5 号=Bb1068, 東 北 9 号=Bb1093, 東 北 10 号=Bb1094, 下 田 不 知=Bb1107, ゲ デ ン シ ラ ズ 1 号=Bb1108, 在 来 種 (峯 吉 川) = Bb1124, 晚 生 時 不 知 = Bb 1125, 晚 生 私 豆 = Bb 1126, 岩 手 1 号 = Bc 1105, 岩 手 2 号 = Bc 1006, 雪 の 下 = Bc 2005, い ら ざ (山 形) = Bd 1016, 木 ノ 下 (No. 4) = Bd 1029, 砂 丘 黄 豆 = Bd 1035, 磨 香 豆 = Bd 2014, み つ 豆 (A) = Be 1017, カ プ レ カ ラ = Be 1020, か ぶ れ か ら 秋 = Be 1021, 白 鳳 1 号 = Be 1027, み つ 豆 = Be 1028, 茶 大 豆 = Be 3001, 白 鳳 = Bf 1011, 白 鳳 (6) = Bf 1012, 庭 豆 = Bf 2004, 八 石 = Bo 1011, い た ち か ら = Bo 2001, 磨 香 = Bo 2004, 雁 喰 1 = Bo 4001, ホ ー ジ ャ ク 喰 不 = Ca 1011, 品 種 名 不 詳 = Ca 1015, オ ク メ ジ ロ = Cc 1009, 武 甲 豆 = Cd 1003, 津 久 井 = Cg 2003, 秋 大 豆 = Cg 2005, 新 4 号 = Da 1004, 石 堤 (富 山 在 来) = Dc 1004, 東 山 6 号 = Df 1001, 銀 白 = Df 1005, 悪 田 不 知 = Df 1009, 黒 辺 銀 = Df 1013, 堀 越 = Df 1014, 日 陰 不 知 = Df 1015, 三 石 取 = Df 1019, 今 田 大 豆 = Df 2006, 青 パ ツ = Df 2009, 丹 波 黒 = Ea 4001,

罹病株率 (%)	成熟期 (月 日)	該 当 品 種 名
		赤 莢=Fb1001,赤莢大豆=Fe1001,晩生大豆=Ga1003,伊予大豆=Gb2001, 花 不 知=Gc1003,白 猫 選=He1010,赤莢 1 号=Jo1009,赤莢 2 号=Jo1010, 赤莢 5 号=Jo1012,小判豆(在来)=Jo1024,納 豆 豆=Jo1027,交配 2 号=Jo1055, 振 威=Jo1058,北 海 道=Jo1059,日 陰 豆=Jo1060,紅 色 大 豆=Jo1061, 玉 造=Jo1062,谷 地 豆=Jo1064,よ ご れ 豆=Jo1065,白 菊=Jo1066, 久 四 郎=Jo1068,斑 豆=Jo1072,大粒鶴の子大豆=Jo1073,銀 箔=Jo1076 金 華 山=Jo1077,青 端=Jo2012,右系 2 号=Jo2018,砂糖いらず=Jo2024, 早生茶小粒=Jo3005,刈 豆=Jo3008,鞍 掛=Jo5003,虎 豆=Jo5005, 蔚 山=K1023,金 剛=K1025,端 川 黄=K1027,水 原 青=K2001, ソソビセビコン=K5003,儒 生 太=K5004,Hill=U1034,George Washington=U3002, Southern Prolific=U4009
	11. 1~11.10	三石取(山形)=Bd2013,大 本 豆=Bd1023,台 土 豆=Bd1024,天 山=Bd1025, 赤莢大豆=Bd1026,ア イ サ=Ca1013,白 は だ=Ca1014,銀白(長野)=Df1006, 薄 青=Df2007,軋 田 1 号=Ef1003,みの赤大豆=Fc3001,白大豆 1 号=Fe1002, 白 在 来=Fe1003,花 不 知=Gc1004,在 来 種 (2)=Hb1024,秋大豆 2 号=He1013, 操 大 豆=He1014,球 磨=He1015,日 陰 大 豆=He1019,青 大 豆=Jo2026, JavaNo. 5 = O1001
	11.11~11.15	黒 登 米=Be4001,常平大豆=Ca4002,コ サ マ メ=Cb2003,*雪転(鹿島)=Cc1033, *ネ ヅ ミ=Cf1009,*前田村在来=Dg4001,這 豆=Di1006,*御 厨 青=Di2005, *雪 転=Ee1002,*畿内黒千石(奈良)=Ee4001,*成助=Ef1004,*晩生黒大豆=Ef4001, 秋吉鞍掛大豆=Fc5001,*銀 大 豆=Fe1004,*秋大豆在来=Fe1007,*黒 千 石=Ha4001, *秋大豆 1 号=He1011,*本 渡=He1020,*龍 水=He1021,*天草農 = He1022, 球 磨 地 1 = He3002,*在来黒大豆=He4004,*黄 色=Hf1003,*納 言=Jo1075, 端 川 45 号=K1028,*光洲在来=K1029,*青 黄 豆=N2003,*Welirang=O1004, *JavaNo. I = O1007,
	8.11~ 8.20	
	8.21~ 8.30	
40.0~59.9	9. 1~ 9.10	早生緑大袖振=Ao2003.早 生夏=Hb1008,松 葉 大 豆=Hb1011,ハジノミ=Hd3001, ハンノミ=Hd3002,一 号 早 生 大 豆=He1002,改 良 白 目 (1)=Hg1002,霜 不 知=Jo1029, 紫 花 1 号=M1001,紫 花 1 号=M1002,公 主 嶺 555 号=M1003,紫 花 3 号=M1004, 紫 花 4 号=M1006,Ioybeaus840-2-27=T1001,Ioybeaus882-27=T1005
	9.11~ 9.20	A - B=Bb1006,白 花 崎 1 号=Cd1001,毛 振=Cd1006,白 大 粒=Cg1008, 北 浜 早 生=Dd1002,富 士 4 号=Di1001,富 士 在 来=Di2002,コガネダイズ=Hb1001, サヨヒメ=Hb1002,新 豊 年=Hb1007,新 豊 年=Hb1007,高アンダ=Hb1002, 在 来 種=Hb1023,黒 目=Hb2002,白 裸 1 号=Hb2003,黄 莢 (1)=Hg1008, 白 口 1 号=Hg1014,秣 喰 豆 (公 502 号)=M4002
	9.21~ 9.30	丸 小 粒=Ao1032,野 本 白 花 (藤 坂)=Ba1024,A - b (B)=Bb1010,N - B (褐 毛)=Bb1032, 陸 羽 20 号=Bb1056,農 林 5 号=Bb1098,ダ ル マ マ サ リ=Bb1099,ウ コ ダ イ ズ=Bb1100, ワ セ シ ロ ゲ=Bb1101,曙 1 号=Bb1112,庄 内 早 生=Bd1010,目 白 3 号=Bf1013, イ バ ラ ギ=Bf1014,鬼 裸 7 号=Ca1005,白 裸 12 号=Ca1006,栃 木=Cb1002, 鶴 の 友=Cb1007,青 六=Cb2001,関 東 8 号=Cc1012,関 東 11 号=Cc1014, 御 社 純 1 号=Cc1019,生 娘 茨 城 1 号=Cc1023,生 娘=Cc1024,大 豆 関 東 3 号=Cc2001, 千 成 生 娘 奇 1 号=Cd1005,鬼 裸 奇 1 号=Cd1007,金 大 豆=Cd1013,比 丘 尼=Ce1001,

罹病株率 (%)	成熟期 (月日)	該 当 品 種 名
		生娘77号=Cf1005,毛 ナ シ=Cf1006,ピ ク ニ=Cg1001,寺 塚=Cg1003, 鬼 裸=Co1002,い た ち=Co1004,新 1 号=Da1001,新 2 号=Da1002, かたざや=Da1002,美篤大豆=Df2003,早 生 豆=Jo1001,三 粒 入=Jo1017, 大 白 玉=Jo1019,Jo2032=Jo2032,赤 塚=Jo3002,鳥 豆=Jo4004, 京畿道水原=K1001,白 蔬 太=K1003,公主嶺224号=M1014,四平街黒臍=M1029, 東豊嶺嚙豆=M1034,Chief=U1005,Danfield=U1007,Chestnut=U3001
	10.1~10.10	千 成=Ba1030,基石白花=Ba4001,anc-b(A)=Bb1001,N-b(B)=Bb1022, N-B(褐毛)=Bb1034,AN-B(a)=Bb1037,AN-B=Bb1038,陸羽23号=Bb1059, 興系9号=Bb1080,た系8号=Bb1086,秋 田=Bb1104,凶作不知=Bb1113, 三 ツ 葉=Bd1008,五 ツ 葉=Bf2001,栃木3号=Cb2002,関東13号=Cc1016, 早生大莢=Cc1030,伊 勢 豆=Cd1014,日 連=Cg1009,あぜみのり=Da1005, 交系74号=Da1007,交 1 0 3=Da1010,大豆2号=Dd1001,榎 本=Jo1042, 地 蔵=Jo1046,オルコン=K1002,長 湍 目 白=K1006,慶 豆=K1013, 有毛シンナモン=K3001,大 黄 豆=M1036,北京大黄豆=N1002,小 黄 豆=N1003, Columbia=U1006,Sherwood=U1027,Wabash=U1032,Yokoten=U1033
	10.11~11.20	菊地1号=Ba1020赤莢(青森)=Ba1021,A-b(白毛)=Bb1018,東北3号-30=Bb1136, 南 部=Bc1014,散 弾 豆=Bc4001,八白木豆(山形)=Bd1012,麴シラズ=Bd1013, 玉造1号=Be1005,遠 四 軒=Be1012,千成1号=Bo1004,小 無 田=He4003, 砂糖大豆=Jo1026,中 出=Jo1034,沖田1号=Jo1050,威安大豆=K1009, 益 山=K1017,高陽大豆=K1022,裏外青豆=M2001,通洲在来=N4001, Haberlandt=U1013,Kingwa=U4003,PinDell=U5003,パーヅニアビーン=U5004,
	10.21~10.31	目 黒=Ba1016,AN-B(蔓性)=Bb1039興羽4号=Bb1067,東北5号=Bb1090, ネマンシラズ=Bb1103,黒 莢=Bb1110,小坂在来(褐臍)=Bb1121,目 黒=Bb1122, 晩生兄豆=Bb1127,錫杖(石名坂)=Bb1132,錫 杖=Bb1133,青 莢=Bc2007, 東金井豆(No.2)=Bd1021,木ノ下(山形)=Bd2006,渡辺種(山形)=Bd2007,伊達青=Bd2008, 砂丘青豆=Bd2010,きな粉豆=Bd2012,赤豆(山形)=Bd3001,右大崎在来種=Bd1022, 鳩 殺(B)=Bo1010,白 雁 喰=Bo2002,平 石=Bo2003,太 白=Ca1007, 小倉畦豆=Ca2001,上 岩=Cg2002,大 浜=Dd1003,善 光 寺=De4001, 朝 青=De2001,白川茶豆=De3001,東条大豆=Df1012,日名大豆=Df1016, 田之入大豆=Df1020,大 鹿 大 豆=Df1021,鶏 頭 大 豆=Ef1005,秋吉白大豆=Fc1001, 広島白大豆=Fd1001,雪 の 下=Jo1063,鹿島台在来種=Jo1069,晩小豆1号=Jo2013, 青畑小豆(原々)=Jo2014,白ヒヤシ豆=Jo2015,きなこ豆(在来)=Jo2020,伊予青刈=Jo2021, 刈 豆=Jo2023,在来種(秋保)=Jo2025,基石豆(在来)=Jo4009,龍 眼=K1021, 水原1号=K1024,S-100=U1029,Scott=U1038,Laredo=U4004
	11.1~11.10	ハツ豆6号=Be1024,晩生目白=Cc1032, 旭 =Dd1004,オホマヌ=Dg1006, 一 木=Ee1001,陰 豆=Jo1078,無 名=Jo1079,
	11.11~11.15	クラカケ大豆(1)=Fb5001,*秋大豆(白)=Fc1002,*赤莢(山口)=Fc1004, *在来種秋大豆=Fe1006,黄色秋大豆=He1018,*米 岳=He1024,*赤莢3号=Jo1011, *Soombing=O1003,*No.16=O4001
60.0~79.9	8.11~8.20	
	8.21~8.31	
	9.1~9.10	デンナイ=Hb1016



罹病株率 (%)	成熟期 (月 日)	該 当 品 種 名
	9.11~ 9.20	茨城豆=Bf1015,御社=Cc1018,白目(2)=Hd1005,秣食豆(公503号)=M3001,秣食豆(公504号)=M3002,秣食豆ロシヤ種=M3003,Manchu=U1020
	9.21~ 9.30	戸蔦大豆=Ao1042,A-b(白毛)=Bb1016,N-B(b)=Eb1029,毛裸=Cd1009,青地大豆=Jo1031,無毛裸=Jo3001,金元=M1024,奉天白眉=M1025,四平街白花=M1030,牛莊=M1032,茶秣食豆=M3004,Harosoy=U1011,
	10. 1~10.10	滿洲型 b=Bb1008,A-b(白毛)=Bb1017,内地型 b=Bb1019,茶=Ca3001,鶴の友=Cb1008,東秋=Cc1017,黒莢7号=Jo1007,在來種1号=Jo1048,黄金豆=M1037,公主嶺273号=M5001,大黄豆=N1001,Mansoy=U1021,Mukden=U1022,Sherwood=U1028
	10.11~10.20	南郡竹館=Ba1012,白莢(豆腐豆)=Ba1025,つるの卵(No.2)=Ba1032,N-B=Bb1026,内地型 B=Bb1027,A N - b=Bb1036,興系3号=Bb1076,黒砂糖豆=Bd4002,玉造2号=Be1006,達磨30号=Be1014,小豆豆=Bf5001,青大豆=Cg2004,青肌=Di2004,中生大豆=Ga1001,中生11号=Ga1002,穀豆=Jo1052,交配=Jo1054,茶豆(淡)=Jo3003,茶豆(濃)=Jo3004,白蔬太=K1004,咸安大豆=K1010,オイアルゴン=K1015,オイアルゴン=K1016,咸安小黄豆=N1005,北京黒大豆=N4002,デイクシー=U1008
	10.21~10.31	A - b (F)=Bb1014,A N - B(b)=Eb1040,陸羽11号=Bb1050,陸羽28号=Bb1063,東北4号=Bb1089,小坂在來(黒臍)=Bb1120,ゲンデ不知=Bb1128,淡緑(2)=Bb1130,刈系1号=Bb2005,岩手東吉=Bc1008,木ノ下(No.8)=Bd2004,在來種伊具=Be1019,興農1号=Bf1010,オホイバラギ=Bf1021,黄粉豆=Bf2002,白莢1号=Cb1009,ソコソン=Da2003,青銀白=Df1007,虎大豆=Df5001,小銀白=Dg1003,白豆=Jo1020,青刈6号=Jo1028,大貫在來種=Jo1070,笹黒目(在來)=Jo2019,長湍=K1008,東京=U1031
	11. 1~11.10	銀白=Dg1002,世界一=Jo2016.
	11.11~11.15	*青刈=Bo2005,*睦畔大豆=Cf1010,中鉄砲=De1005,*小種=Dh1002,御厨白=Di1005,*七郷茶豆=Ec3001,*玉錦=Eg1001,*赤莢=Fc1005,*白大八輪=Fd1002,*五合成=Fd2001,*茶千石9号=Hc3001,人吉=He1017,*Ringist=O1005
80.0~89.9	8.11~ 8.20	
	8.21~ 8.31	
	9. 1~ 9.10	
	9.11~ 9.20	N - b (A)=Bb1021.黒秣食豆(公205号)=M4001
	9.21~ 9.30	N - B (a)=Bb1028,N - B (c)=Bb1030,鹽畦大豆=He1007,中出D早=Jo1033,双梭子=M1028,白花趾止=M1031,Ebony=U1009
	10. 1~10.10	農林4号=Bb1097,オバコヒカリ=Bb1135,大豆=Hd2001,赤莢中生=Jo1008,黄豆=Jo1021,長湍茶=K1007,成川=K1012,公主嶺白眉=M1027,Elton=U1010
10.11~10.20	N-b(白毛)=Bb1024,こうじいらず=Di2005,馬大豆=Jo2031,白中太=K1011,天津大青豆=N2002	

罹病株率 (%)	成熟期 (月 日)	該 当 品 種 名
	10.21~10.31	ゲンデ不知=Bb1129,長岡大粒=Dø1020,侵豆(白黒)=Df5002,霜降豆=Jo1074,台わん=Jo2010,黒目太莢=K1019,大豆 B=N1006
	11. 1~11.10	陸羽15号=Bb1051,青 銀=Df2008,小 種=Dh1003,みの緑茶大豆=Fc3002,藍 豆=Jo2028
	11.11~11.15	*秋大豆1号=He1012,阿蘇1号(丸)=He1016,*房成大豆=He1025
90.00~ 100.0	8.11~ 8.20	
	8.21~ 8.31	
	9. 1~ 9.10	Mandarin=U1017
	9.11~ 9.20	青 =Bc2001,早生大豆1号(千葉)=Cf1001,盆白55号=Dz1001,Manchu=U1019,
	9.21~ 9.30	A - b (A)=Bb1009,A - b (D)=Bb1012,A - b (E)=Bb1013,A - b(白毛)=Bb1015, N - B(絹毛)=Bb1033,白 眉=M1026,千 本=M1035,Adams = U 1001, Black-hawk = U1002,Howkeye=U1012,Illini = U 1015,Lincoln = U1016. MontrealManchu = U1018,Pinpu=U1025
	10. 1~10.10	八雲目赤=Ao1043,西津軽在来種=Ba1026,た系4号=Bb1084,白肥後=Be1011,霜 月=Jo1047,在来種4号=Jo1049,多 福=Jo1051,長端白目=K1005, Hongkong =U1014,Peking =U4007,Peking=U4008
	10.11~10.20	N - B (d)=Bb1031,陸羽16号=Bb1052,奥羽8号=Bb1070,青 豆=Bc2002,青 平=Bc2006,黒 平=Bc4002,革新1号-10=Bf1023,岩手赤大豆=Cc5001,扇 豆=Cd1015,一 粒=Jo1022,平 糎=K1014,黒目太=K1018,
	10.21~10.31	陸羽6号=Bb1045,陸羽10号=Bb1049,東北3号=Bb1088,東北7号=Bb1091,東北8号=Bb1092,頼輔豆=Bb1131,生保内在来=Bb2004,大 玉=Bc1017,大白1号=Be1023,ミヤギシロメ=Be1025,白玉10号=Bf1009,大 白=Ca1008,赤大豆=Cc5002,在来大豆=Fe1005,青鶴の友=Jo2009,Biloxi(米国)=U1003
	11. 1~11.10	金 華 山=Dh1001
	11.11~11.15	*玉 名=He2001,*青馬鹿=Jo2029

備考 I) 本試験の調査個体数は1品種当り12個体を基準とする。

II) 品種名のうしろの=以下は刈和野試験地における大豆品種保存台帳番号である。

III) 品種名の頭につけた\*印は未成熟のまま11月13日に収穫したことを示す。

品種保存栽培に供用された1,107品種・系統の罹病状況は第1表に示すとおり同一条件下に栽培された品種間にも明らかな罹病性の差異が認められる。しかして、これらのうち罹病株率0%および20%以下の371品種(全品種数の33.5%)は株枯病に対する抵抗性が強く、また罹病株率80%以上の99品種(全品種数の8.9%)はその

抵抗性が弱いものと推定され、その他の637品種(全品種数の57.6%)は罹病程度に差異はあっても抵抗性は中位と考えられる。

いま、本調査成績にもとづいて、東北地方の主要品種およびその他二、三の著名品種について、その株枯病抵抗性を推定すると次ぎのようになる。

第2表 東北地方の主要品種およびその他二、三の著名品種の推定株枯病抵抗性

推定による株枯病抵抗性	該 当 品 種 名
強 (罹病株率) (0.~19.9%)	陽 月,陽月1号,出来過,野 起,野起白花,鶴 の 子,撫子1号,鶴 の 卵,川 流,岩手野起1号,出来過1号,金成1号,陸羽27号,奥羽13号,

推定による 株枯病抵抗性	該 当 品 種 名
	ハツカリ, 兄, 秋田兄, 白八石, 白鷹種, 旭60号, 目白1号, 白八石2号, 革新1号, タマムスメ, タチスズナリ, ポンミノリ
中 (20.0~79.9%)	十勝長葉, 東吉1号, 南郡竹館, 目黒, 山白玉, 農林5号, ダルママサリ, ウゴダイズ, ワセシロゲ, ネマンラズ, 秋田, ゲデンシラズ1号, 砂丘黄豆, 砂丘青豆, 茨城豆7号, 達磨2号, 興農1号, シンメジロ, フクメジロ, オクメジロ, 新4号, あぜみのり, かたざや, Harosoy Wabash
弱 (80.0~100.0%)	大玉, ミヤギシロメ, 農林4号, オバコヒカリ, 白玉10号, 革新1号-10

2. 品種の成熟期と罹病株率との関係  
 第1表を整理し, 品種の成熟期と罹病株率との関係を  
 みると次ぎのようになる。

第3表 品種の成熟期と罹病株率との関係

罹病株率	推定による 株枯病抵抗性	成熟期および該当する品種または系統数											合 計
		(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	
		8.11~8.21	8.21~8.31	9.0~9.10	9.11~9.20	9.21~9.30	10.1~10.10	10.11~10.20	10.21~10.31	10.31~11.10	11.1~11.10	11.11~	
0.0 %	強	最強	1	3	10	9	29	12	11	32	5	9	121(10.9)
0.1~19.9	強	強	1	0	23	23	61	38	32	60	2	10	250(22.6)
20.0~39.9	中	中の強	0	0	22	24	68	29	41	89	21	29	323(29.2)
40.0~79.9		中の弱	0	0	16	25	64	50	50	78	9	22	314(28.4)
80.0~100.0	弱	弱	0	0	1	6	21	20	17	23	6	15	99( 8.9)
合 計			2 (0.2)	3 (0.3)	72 (6.5)	87 (7.9)	243 (22.0)	149 (13.4)	151 (13.6)	282 (25.4)	43 (3.9)	75 (6.8)	1,107 (100.0)

注) 合計欄の( )は全体に対する比率

第3表に見られるとおり, 当地で8月中に成熟する二, 三の極早生種に発生が少ないのは本病の発病の適温, 生育時期等の関係から回避したのではないかと考えられる。

3. 品種の取寄先(原栽培地)と罹病株率との関係  
 第1表を整理し, 品種の取寄先(原栽培地)と罹病株率との関係をみると第4表のようになる。

第4表 品種の取寄先(原栽培地)と罹病株率との関係

罹病株率	推定による 株枯病抵抗性	品 種 の 取 寄 先 (原栽培地) および 該 当 品 種 数														
		北海道	東 北	関 東	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	朝 鮮	満 洲	満洲を除く中国	東 南 ア ジ ア	北 欧	ア メ リ カ	
0.0%	強	21 (37.5)	39 (11.4)	12 (9.6)	10 (9.5)	4 (21.0)	2 (8.7)		9 (8.5)	5 (10.0)	2 (4.2)	1 (9.1)		5 (7.9)		
0.1~19.9	強	19 (33.9)	79 (23.1)	31 (24.8)	22 (21.0)	3 (15.8)	2 (8.7)	1 (12.5)	32 (30.1)	8 (16.0)	7 (14.9)		3 (33.3)	2 (25.0)	11 (17.5)	
20.0~39.9	中	中の強	12 (21.4)	95 (27.9)	35 (28.0)	36 (34.2)	8 (42.2)	8 (34.8)	5 (62.5)	36 (34.0)	14 (28.0)	11 (23.4)	2 (18.2)	3 (33.3)	4 (50.0)	11 (17.5)
40.0~79.9		中の弱	3 (5.3)	95 (27.0)	42 (33.6)	30 (28.6)	4 (21.0)	9 (39.1)	2 (25.0)	23 (21.7)	16 (32.0)	21 (44.7)	6 (54.5)	3 (33.3)	2 (25.0)	21 (33.3)

罹病株率	検定による株枯病抵抗性	品種の取寄先(原栽培地)および該当品種数													
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	朝鮮	満洲	満洲を除く中国	東南アジア	北欧	アメリカ
80.0 ~ 100.0	弱	1 (1.8)	33 (9.7)	5 (4.0)	7 (6.7)		2 (8.7)		6 (5.7)	7 (14.0)	6 (12.8)		2 (18.2)		15 (23.8)
合計		56 (100.0)	341 (100.0)	125 (100.0)	105 (100.0)	19 (100.0)	23 (100.0)	8 (100.0)	106 (100.0)	50 (100.0)	47 (100.0)	11 (100.0)	9 (100.0)	8 (100.0)	63 (100.0)

注) ( ) 内の数根は各地域ごとの品種総数に対する該当罹病株率品種数の比率である。

各地域を通して罹病株率40%以下(株枯病に比較的強いと思われる)の品種数が罹病株率40%以上(株枯病に比較的弱いと思われる)の品種数よりやや多いのが普通である。特に北海道品種では40%以下の品種が全体の93%を占め、これに次いで近畿、四国、九州地方および北欧の品種がそれぞれ73~80%の多数を占めている。これはこれら地方の品種に抵抗性の強いものが多いことを示しているように思われる。これに反して満洲および満洲を除く中国ならびにアメリカ品種では40%以上の罹病株率のものが、それ以下のものより多く、一般に抵抗性の弱い品種の多いことを示しているようである。

北海道、近畿、四国、九州地方など日本品種の絶対多数が有限伸育型に属する品種であり、中国(満洲およびそれ以外の地域)、アメリカ品種の大部分は無限伸育型に属する品種であって、品種のこの特性と株枯病抵抗性とのあいだの関連性も考えられて、まことに興味深い。

#### 4. 両親品種の罹病株率と交配後代系統の罹病株率との関係

多数の交配後代系統についても、それらの罹病株率を調査した。この調査成績にもとづいて、両親品種の罹病株率と後代系統の罹病株率とのあいだに關係があるか、換言すれば、推定された株枯病抵抗性が果して遺伝するものであるか否かを調べてみた。

第5表 「雑種第3代系統および個体選抜試験」における調査成績

罹病株率(%)	推定される抵抗性	該当する系統数および%					計
		0.0	0.1~19.9	20.0~39.9	40.0~79.9	80.0~100.0	
		強		中		弱	
		最強	強	中の強	中の弱	弱	
① 株枯病が多発した圃場に栽植されたもの	刈交 61	5(1.1)	5(1.1)	43(9.2)	314(67.4)	99(21.2)	466(100.0)
	刈交 62	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(-)
② 発病が中程度の圃場に栽植されたもの	刈交 61	6(2.2)	9(3.3)	54(19.9)	177(65.0)	26(9.5)	272(100.0)
	刈交 62	9(3.3)	3(8.3)	15(41.7)	14(38.9)	0(0.0)	36(100.0)
③ 発病が軽微な圃場に栽植されたもの	刈交 61	1(1.4)	5(6.9)	30(41.7)	34(47.2)	2(2.8)	72(100.0)
	刈交 62	5(16.7)	4(13.3)	11(36.7)	10(33.3)	0(0.0)	30(100.0)
計	刈交 61	12(1.5)	19(2.3)	127(15.7)	525(64.8)	127(15.7)	810(100.0)
	刈交 62	19(13.6)	7(10.6)	26(39.4)	24(36.4)	0(0.0)	66(100.0)

備考 I) 刈交61は東北6号×南部竹館, 刈交62は東北6号×山白玉。

II) 両親品種の推定抵抗性, 東北6号…中の弱, 南部竹館…中の弱, 山白玉…中の強。

III) 本試験における1系統当り調査個体数は10個体を基準とする。

第6表 「雑種第4代以後系統育成試験」における調査成績

世 代	交 配 番 号	組合せ ( )は推定抵抗性	該当する系統数および%					計
			推定される抵抗性					
			0.0	0.1~19.9	20.0~39.9	40.0~79.9	80.0~100.0	
			強		中		弱	
		最 強	強	中の強	中の弱	弱		
F <sub>4</sub>	刈交56	東北6号(中の弱)×新豊年(中の強)	6(5.9)	26(25.8)	32(31.7)	36(35.6)	1(1.0)	101(100.0)
〃	〃 57	東北6号(中の弱)×陽月1号(強)	0(0.0)	4(28.6)	8(57.1)	2(14.3)	0(0.0)	14(100.0)
〃	〃 58	東北6号(中の弱)×本育65号(強)	1(1.1)	10(10.5)	33(34.7)	46(48.4)	5(5.3)	95(100.0)
〃	〃 59	東北6号(中の弱)×茨城豆7号(中の強)	1(4.0)	5(20.0)	5(56.0)	5(20.0)	0(0.0)	25(100.0)
〃	〃 60	東北6号(中の弱)×農林4号(中の弱)	2(2.2)	16(17.8)	27(30.0)	44(48.9)	1(1.1)	90(100.0)
F <sub>5</sub>	〃 45(A)	刈下19-2(東北3号)(中の弱)×新豊年(中の強)	1(1.5)	9(13.9)	29(44.6)	26(40.0)	0(0.0)	65(100.0)
〃	〃 46(A)	刈下19-2(東北3号)(中の弱)×白花崎1号(中の強)	0(0.0)	4(20.0)	7(35.0)	9(45.0)	0(0.0)	20(100.0)
〃	〃 49(A)	刈下19-2(東北3号)(中の弱)×タムスメ(強)	2(8.0)	8(32.0)	9(36.0)	6(24.0)	0(0.0)	25(100.0)
〃	〃 50(A)	刈下19-2(中の弱)×本育65号(中の強)	0(0.0)	2(10.0)	6(30.0)	12(60.0)	0(0.0)	20(100.0)
〃	〃 54	東北3号(刈下19-2)(中の弱)×農林4号(中の弱)	0(0.0)	0(0.0)	5(50.0)	5(50.0)	0(0.0)	10(100.0)
〃	〃 55	東北7号(刈下8・10)(中の弱)×農林4号(中の弱)	0(0.0)	1(10.0)	2(20.0)	7(70.0)	0(0.0)	10(100.0)
F <sub>6</sub>	〃 50	刈下19-2(中の弱)×本育65号(強)	1(3.3)	6(20.0)	11(36.7)	12(40.0)	0(0.0)	30(100.0)
F <sub>7</sub>	〃 36	岩手2号(中の強)×ゲデンシラズ1号(中の強)	2(6.6)	5(16.7)	14(46.7)	9(30.0)	0(0.0)	30(100.0)

備考 I) F<sub>4</sub>代の栽植圃は発病「中」程度, F<sub>5</sub>~F<sub>7</sub>代栽植圃の発病程度は「多」~「中」程度であった。

II) 本試験における1系統当り調査個体数は15個体を基準とする。

第5表および第6表は、たまたま存在した材料について調査した成績にすぎず、両親品種の罹病株率と交配後代系統の罹病株率との関係を調査するために特に適した材料というわけではない。それにもかかわらず、これらの成績から、交配後代系統の株枯罹病株率(抵抗性の強弱)は、両親品種の罹病株率の多少(抵抗性の強弱)と大きく関係する傾向のあることがうかがい知られる。そしてこのことは両親品種の選定に意識的に配慮すれば抵抗性品種の育成も期待してよいように考えられる。

本報告においては株枯病に対する大豆の罹病性の品種間差異、品種の成熟期と罹病性との関係、品種の取寄先(原栽培地)と罹病性との関係、或いは抵抗性品種育成

の可能性などの点について述べたが、これらは自然条件下に発生した一つの事実に基づいて推論したもので、その事実の確認、調査方法の確立、罹病性と品種の諸形質との関係などについては、今後さらに追究を要するものと思われる。

### 3. 参考文献

1. 鑄方末彦：昭24 食用作物病学 上巻 稲及び豆類 180~181頁 朝倉書店
2. 原 祺祐：昭9 実験作物病理学 278~279頁
3. 〃 : 昭23 実験活用病虫害宝典(36. 大豆株腐病) 127頁 養賢堂